

# 手軽に（機能一体型）「田んぼダム」 に取り組みましょう！

## 「機能一体型田んぼダム」とは

- 「機能一体型田んぼダム」とは、水田の水管理を行う通常の「堰板（水位調整板）」の上に、流出量を絞る「流出量調整板」を設置することで、大雨の際に水田に一時的に水を貯め、排水路や河川への負担を軽減する取組です。

## 「機能一体型田んぼダム」の特徴

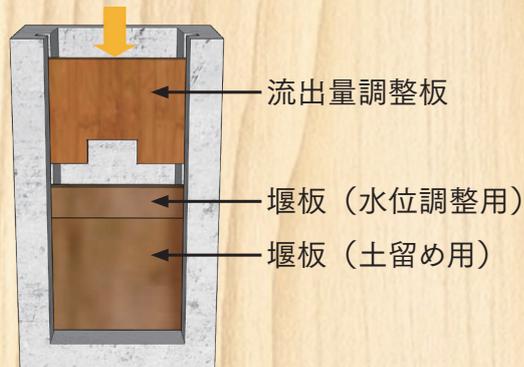
### メリット

- 既設落口柵の堰板の上に設置するだけなので、簡単に「田んぼダム」に取り組むことができます。
- 大きな雨でも一時的に田んぼからの排水量はかなり少なくなります。
- ゴミ詰まりの確認がしやすく、除去も流出量調整板（門型堰）を引き上げるだけで容易です。

### デメリット

- 流出抑制効果は機能分離型のほうが高いです。

いつもの堰板の上に流出量調整板を載せるだけ！



流出量調整板は原則入れっぱなし



大雨の際はここから越流する

設置高が落口柵の天端より  
5cm程度低くなるようにする

## 「田んぼダム」(機能一体型) 流出量調整板の作り方



- 機能一体型の流出量調整板は、堰板（水位調整板）と同じ溝に入れます。
- 堰板の上に載せたとき、流出量調整板の天端が柵（畦畔）の天端より5cmほど低くなるよう流出量調整板をカットします。
- 幅8cm程度、高さ4cm程度、流出量調整板の底部を切り欠きます。（切り欠き面積が小さいほど貯留効果は上がりますが湛水時間が長くなります。）

